

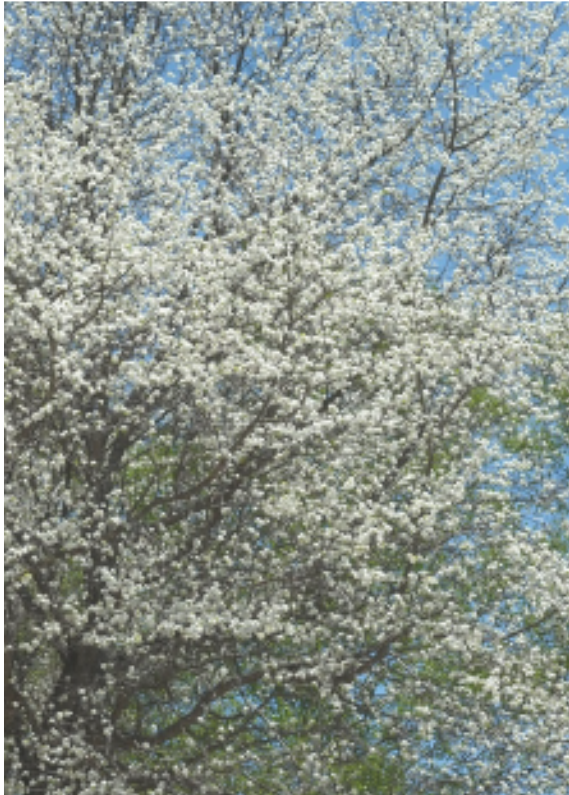


いよいよ「八ヶ岳森の恵み通信」の創刊です。森の恵み会の皆さんには、ここ野辺山高原にひろがる筑波大学のフィールドを活用して、おおいにはねを伸ばし、いろいろな視点で感じるまま、自分が思い描く恵みを授受していただければと思っています。

さて、野辺山の本格的な春は5月に入ってからです。まっしろなコブシ、ピンク色のオオヤマザクラの花が咲き、この地域でも希少なアオナシ、そしてズミと続いて森はみどりの葉っぱが優勢する季節に移ります。その林がみどりに覆われる前、サクラソウの花（写真）が恵みの森と八ヶ岳演習林の林床に彩りをそえてくれます。例年5月中下旬ですが、今年は10日以上も早く見頃を迎えました。

JUN 2016

「森の恵み通信」について
八ヶ岳森の恵み会設立総会
会員構成とアンケート結果



「森の恵み通信」について

今回第 1 号をお届けしている「八ヶ岳森の恵み通信」は、「八ヶ岳森の恵み会」の会報です。ニュースレターと呼ぶこともあります。年に 6 回程度発行します。インターネットを使っていない会員でも、この会報で活動予定などがわかるようにします。

「森の恵み通信」の内容は、会のホームページや「メールつうしん」の情報とかなり重複しますので、ご了承ください。また、「森の恵み通信」は個人情報削除した上で会のホームページにも掲載します。

「メールつうしん」を届けている会員の皆さんには、経費節約のため、「森の恵み通信」も pdf ファイルをメールに添付する形でお送りしています。ただし、大きな添付ファイルを受け取れない方や、やっぱり印刷されたものを読みたいという方には郵送しますので、事務局までお申し出ください。

会員からの投稿も歓迎します。「次号の発行予定」をご覧ください。期限までに原稿や写真などを事務局にお送りください。

「森の恵み通信」の編集は、役員の森下浩司さんをお願いしています。グラフィックデザイナーをされているということで、フォントや色、見出しの使い方などが素晴らしく、演習林スタッフだけではとても実現しない素敵な会報になっています。

役員が選ばれました

規約第 6 条では「八ヶ岳森の恵み会に次の役員を置く。会長 1 名、会計 1 名、監事 1 名、事務局員若干名」とあります。5月15日の総会で下記の方々が役員に選ばれました（敬称略）。任期は 1 年です。どうぞよろしくお願いします。

会長：藤岡正博

会計：樋川善史

監査：成瀬豊

事務局員：森下浩司（会報担当）・井波明宏（総務担当）・永井真理（会員名簿担当）

会長のあいさつ

皆さん、こんにちは。
八ヶ岳・川上演習林の藤岡です。先日の設立総会で会長を仰せつかりましたので、簡単にごあいさつさせていただきます。



八ヶ岳森の恵み会は、言うまでもなくボランティア組織です。ただ、他の森林関係のボランティア組織とちょっと違うのは、筑波大学八ヶ岳・川上演習林（略して八演、やつえん）を活動の舞台として、八演の事業を手助けするところです。そういう意味で、八演ではサポーター会と呼んでいます。

サポーター会であることにはメリットもあります。八演にある施設や実習用の道具を使うことができます。ちょっと学術的な活動に参加したり、専門家の話を聞いたりもできます。若い学生からパワーをもらうこともあるかもしれません（逆かも）。



私は森の恵み会の会長かつ八演の林長という立場になりました。これは、会の助走期間の暫定的な役割と考えています。

これから学外者 3 名を含む 6 人の役員で会を切り盛りしながら、さらに会員の自主的な活動をうながし

活動内容や経費を大学と森の恵み会でどう仕分けるのかなど、しばらくは試行錯誤が続きます。でも、皆さんといっしょに森林や木材を通して楽しく、息長く活動するという方針だけは揺らぐことはありません。これからの1年間、よろしくお願いします。

5月15日には、当日の時点で37名の会員のうち24名（+お手伝い3名、子供1名）に参加していただき、大変ありがとうございました。

その後、役員選出が行われました。一般会員の方から役員に積極的に手を挙げていただき、思いのほかスムーズに決めることができました。当日説明し忘れましたが、もろもろの事務手続きをやっている八演の井波技術職員も役員に加えていただくようお願いします。



採して構内が明るくなったこともあって、たら芽やウドをたくさん収穫できました。

収穫した山菜は、てんぷらなどにして、技術職員が別途用意しておくれたおそばやイノシシ肉と一っしょに美味しくいただきました。

この日は少しかすみがかかっていたものの、快適な暖かさで、屋外で山菜を食べながら会話が弾みました。もっと続けたい気もしましたが、遠方の方の帰りや片付けの都合も考えて、午後 2 時過ぎに一応、お開きとしました。

様々な地域や年齢層、特技・興味の会員がおられるので、今後の活動がとても楽しみになる会でした。最後になりますが、会場や料理の下準備から片付けまでをお手伝いいただいた方々にこの場をお借りして心よりお礼申し上げます。

7月17日に演習林見学会と8月調査の準備をします。この日は日曜日で、翌日の月曜日は海の日で祝日となっています。

まず、八演が管理する 3 か所の森を実際に歩いてみます。といっても、特に川上演習林は、広さが 190 ヘクタール、高低差が 380 メートルありますから、とても歩ききれません。入口付近だけになります。3 か所の違いは実感してもらえると思います。

その際に、3週間後に行う8月調査の準備もします。例えば野生動物を撮影するための自動撮影カメラを設置したり、土壌動物を採取するためのフォーミュラントラップの埋め込みを練習したり、植物調査の場所を決めたり、植物の見分け方を学んだりすることを考えています。

雨天決行です。雨風の程度によって、屋根のある屋外や室内に場所を切り替えて、状況に応じてできることをやります。

集合時間：午前 10 時 10 分

終了時間：午後 3 時頃

集合場所：ハヶ岳・川上演習林管理棟

服装：野外活動ができる靴と上下、帽子など

持ち物：雨具（晴天時でも）、昼食（車で 5 分のコンビニで購入も可能）、野外用のノートなど

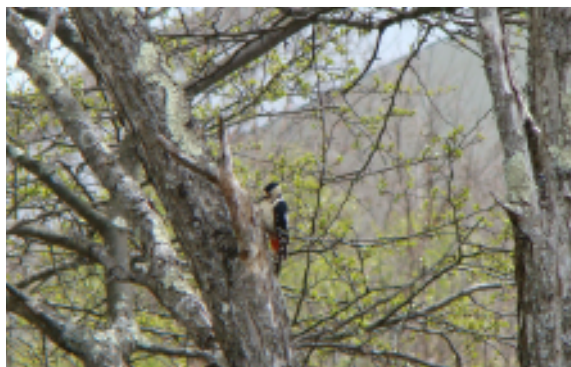
交通のご案内：関東方面から自家用車利用の場合、当日は渋滞が予想されています。時間に余裕をもっておでかけください。

鉄道利用の場合、あさま 601 号（東京 06:52 発）に乗車すれば、佐久平駅にて小海線に乗り換えて 09:53 に野辺山駅に着きます。中央本線経由では間に合いません。

宿泊のご案内：遠くからの方は、前泊または後泊することを勧めします。

夏の野辺山は快適です。それだけに、周辺のホテルなどは、早々に予約で埋まってしまいますから、早めに検討してください。

八演の宿泊施設も利用できます。ただし、古い学生用施設ですので、それなりの「覚悟」が必要です。利用を希望する場合には 7 月 1 日までに利用可能かどうか事務局までご連絡ください。



今後のイベント予定

8 月以降については今のところ以下のようなイベントを予定しています。8 月 7 日の動植物調査につい

ては次号で詳しく案内しますが、興味のある方で可能な方は 7 月 17 日にもできるだけ参加してください。その他、ミズナラ植栽地の草刈りをイベントとして企画するかもしれません。

また、イベントの提案や希望も大歓迎です。例えば、1 月から 4 月はお休みの予定なのですが、雪の中でのアニマルトラッキング（足跡や糞、食痕の観察）も楽しいかもしれません。

8 月 動植物調査

恵みの森などで哺乳類や昆虫、植物を手にとって調査します。一般参加も募集する予定。

10 月 牛乳パック苗木づくり

ハヶ岳演習林でどんぐりを集めて恵みの森で育てます。一般参加も募集する予定。

12 月 薪割り体験

恵みの森で伐採された木を玉切りして、斧で割ります。実際に薪ストーブも使います。

保険の加入について

森の恵み会では、イベントによってはノコギリなどの刃物やチェーンソーなどの動力機械を使います。そこで、こうした比較的危険度の高い活動に対応した保険制度である「森林ボランティア保険」に、会として団体加入します。

この保険は、NPO 法人日本森林ボランティア協会に登録している団体とその会員を対象とした保険で、賠償責任と傷害の保険がセットになっています。

すでに森林ボランティア協会に正式に団体登録を申し込み、活動予定も提出しています。後は月ごと（実質的にはイベントごと）に参加人数などを「活動実績報告書」として申告した上で、1 年分の保険料を 6 月末に精算します。

総会での説明が混乱して申し訳ありませんでしたが、保険料は会費で十分まかなえますので、ご安心ください。イベントごとに会員からさらに保険料をいただくことはありません。

イベント以外の活動について

イベントは年に5回から6回程度ですが、会員の方にはそれ以外の時にも演習林で活動していただくことができます。ただし、職員の勤務時間内（平日の08:30-17:15）に限るほか、以下の条件がありますのでご注意ください。



1. 保険について

森林ボランティア協会の保険はイベントを前提とした設計になっていますので、残念ながら個別に来られた場合はカバーされません。そのことについての承諾書に来訪の都度ご署名いただきます。承諾書の様式は八演管理棟に用意しておきます。

2. 事前連絡

何かお手伝いに行ってみようかなと思われたら、まずは1週間前までにメールまたは電話で八ヶ岳演習林までご連絡ください。天候の影響などを受けますので、最終的には演習林側から連絡します。時期によっては対応できないこともありますので、ご了承ください。ただし、「メールつうしん」でお手伝い募集のお知らせがある場合には、そこに書かれている連絡期限などを優先します。

3. 演習林スタッフとの連携

基本的には演習林スタッフといっしょに活動してもらいます。安全確保のためにも、演習林スタッフと十分に打合せた上で、活動開始後も必ず演習林スタッフの指示にしたがってください。

その他、八演にある図書資料をご覧になりたい場合などにもご相談下さい。

会員間連絡や会報等への投稿

当面は会員名簿を配ることは考えていません。お互いの連絡先を知りたいということも出てくるかと思いますが、イベントで直接お話ししていただくようお願いします。

会報や「メールつうしん」への投稿は歓迎します。例えば、X月XX日の薪集めイベントにいっしょに行きませんか、といった誘いでもけっこうです。ただし、会の趣旨に沿った内容で、場所は長野県と山梨県に限定します。

会員構成とアンケート結果

4月28日に「メールつうしん」の第1号をお送りした時点で会員数は24名でしたが、その後順調に増加し、5月27日時点で44名となっています。うち5名は八演スタッフ(教職員)で、2名が学生会員、残り37名が一般会員(うち筑波大関係者3名)です。



「学生会員が思ったより少ないね」との声を聞いています。学内ではまだほとんど広報していないことが原因と思われるので、夏休みに向けてこれから本格的に誘うようにします。

地域別では次の表のようになっています。地元の長野県が最多となっていますが、うち 4 人は演習林スタッフですので、もう少し地元在住の参加がほしいところです。ただし、首都圏にお住まいのかなりの方が八ヶ岳山麓に別荘をお持ちのようです。

現住所（都県）	人数
長野県	16
東京都	11
神奈川県	7
茨城県	5
埼玉県	3
静岡県	1
山梨県	1

森の恵み会では入会時にアンケートをお願いしています。以下に 5/27 時点での集計結果を載せておきます（演習林スタッフは含まず）。

1. 興味のある活動

きのこ栽培が最多でしたが、全体にさまざまな活動に興味をお持ちの方が多いという印象です。育林作業もけっこう人気なのが八演スタッフとしてはちょっと意外に感じつつ喜んでいきます。

興味のある活動	人数
間伐や枝打ちなどの育林作業	19
草刈りなどの環境整備	12
苗木づくり	14
動物調査	17
植物調査	16
観察会等の補助	14
児童対象イベントの補助	9
薪割り	18
きのこ栽培	23

その他：観光客誘致・ガイド、研究活動、ツリークライミングなどのご回答がありました。

2. 経験のある活動

チェーンソーの使用経験者が多いのは、さすが森林ボランティアという感じです。プロやプロ級の会員もおられますので、使い方を学ぶ機会を設けたいと思います。

経験のある活動	人数
チェーンソーを使った伐採または玉切り	21
刈払機を使った草刈り	16
薪割り	17
畑仕事・家庭菜園	20
動植物調査	8
バードウォッチング	7
パソコンを使った仕事	20
小中学校での教育	5

その他：花立山天文台ボランティア、登山、木登り、ツリークライミング（2）、修学旅行生への釣り指導などのご回答がありました。

3. 参加曜日と参加頻度

特に現役のお勤め人は、当然ながら休日の参加を希望しています（総会時に土曜日が少ないと説明しましたが、集計ミスだったようです）。年に数回の参加を希望する人が多い一方で、月に数日という方も少なからずいます。

参加曜日	人数
土曜日	27
日曜日	29
祝日	21
平日	13.5

参加頻度	人数
月に数日	11
月に1日	7
年間数日	16
その他（未定）	1

4. その他の希望等

- ・別荘にきた際に参加希望（5）
- ・自然のことを勉強する機会が欲しい
- ・藤沢市八ヶ岳体験教室に月1回参加



井波明宏（総務担当事務局員、八演技術職員）



熱しやすく冷めやすい、飽きっぽいし、おまけに天の邪鬼ともよく言われます。確かに、勇んで専門書を買ったものの、少しかじって別の専門書に飛びつく、高価なデジタルカメラを購入しても、ふと目移りして、色々なメーカーに乗り換える。カエルが動くものを訳もなくパクッとしては吐き出すように、そんな私です。そんな中、今までにいくつかハマったこともありました。例えば、小中学と絵を描くことが好きだったこと（まぐれで上野に学校の代表として展示されたこと自慢です。）。また、マンガばかり読んでいた時に、ふと芥川龍之介の小説を読んだら、短編で面白く、そこからほんの短期間、文学に目覚めたこともありました。もちろん一般に子供のころに流行ったもの、昆虫採集、魚釣り、ガンプラ（ガンダムのプラモデル）等の模型づくり、リングかけ（リングにかけろ）等を雑誌少年ジャンプで、また少年マガジン、少年サンデーも読んでいました（世代がばれてしまいますね）。

でも、それら多くも今の先生方の専門に対する熱に比べるとほんのわずかも知れませんが。一生のうちで夢中になれるものどこかにまだあるのでは・・・と夢想だけはする困った大人です。

さて、本題です。今、現在進行形でハマっていることを私なりに書きます。（決して科学的ではないので悪しからず。）それはテレビやインターネットの報道、図鑑、書籍に出てきた植物（主に顕花植物）を何気に見たとき、実際にこの目でみたいと感じ、生育現場まで

行って、写真に収めるという一連の所作を休日に実行するです。

まず、見るためにはいくつもの情報が必要となります。例えば、生育場所や開花時期、天気の情報、交通手段等々です。最近はインターネットで調べればポンと情報がでてくる便利な世の中ですが、最後はまだ足と経験で探すことになります。一種の探偵屋になった気分を味わえます。もちろん、自分の情報だけで探し出した時や予期せずに見つけた時は感動もひとしおですが、多くは現地で出会った親切な方々にお教え頂くことが大半です。面識のない私に親切に接して下さったことは感謝ですし、自分なりに詰めたこと、旅の味わいに通じるところでもあります。

次に、生育現場の環境をみて肌で感じることで。・・・もともと両親が部活等ない幼いころ、良く連れ出してくれ（その頃は石川県金沢市にいました。）、その影響であるのか、出かけること、景色を楽しむことは好きでした（登山はなく、史跡景勝めぐりが主でした。）。・・・話を戻しますが、なんでこの植物こんなところにあるのだろうかとか答えは出せませんが頭をめぐらせます。事前準備不足だったとか、もう少し植物を知っていたらとか、地形、地質等がわかっていたらと後悔することばかりです。

そして、最後は写真です。下手の横好き、進歩はカメラの性能のみですが、その場の一瞬をきれいに撮りたくなります。でも家に着いて再度確認するとがっかりすることが多いです。だからこそ、次は！今度こそ！と一年先以上になってしまうのですが、次に向かってひそかに希望（野望？）も湧いてきます。

自己紹介ということで、好き勝手吐き出しました。こんな私ですが最後まで読んでいただき、ありがとうございました。どうぞよろしくお願いいたします。





森の豆知識

森の恵み会は筑波大学ハケ岳・川上演習林で活動します。では、皆さんは「演習林」と聞いてどんなところを想像するでしょうか。ウィキペディアによると「演習林とは、林学の研究や教育のための実習林・実験林である。大学における研究・教育のほか、高等学校などとの連携授業や市民向けの公開講座などで活用される。」ということです。大学によっては「研究林」や「試験地」と呼んでいます。

日本でもっとも古い演習林は、1899年に設立された東京大学千葉演習林です。現在では27の大学に75の演習林があります。面積では、北大・東大・京大・九大が圧倒的に広く、中でも北大は7か所合計で7万ヘクタールを持っています。これは北杜市の6万ヘ

クタールより広く、南佐久郡全体の7.7万ヘクタールに迫る広さです。

演習林は広いうえに、林業のサイクルが数十年以上と長いので、簡単には動かせません。ハケ岳・川上演習林も、筑波大学の前身の東京教育大学時代に生まれました。大学キャンパスは茨城県つくば市に移って遠くなりましたが、演習林はそのまま引き継がれているというわけです。

ハケ岳・川上演習林が管理しているのは、恵みの森（事務所構内）14ヘクタールとハケ岳演習林80ヘクタール、川上演習林190ヘクタールの合計284ヘクタールです。北大の足元にも及びませんが、利用や管理を考えると、ほどほどかもしれません。現在では、学内外の実習や調査研究で年間延べ2,000日人ほどに利用されています。（藤岡）



ハケ岳 ちょっと寄り道

清里「萌木の村」裏手の「ともにこのもり」のさらに奥、絶妙の立地で4月に開店したばかりのレストラン・カフェを併設したパン屋さん。内装も外装も手作り感満載の素敵なお店のオープンで焼かれたパンは、こだわりの素材を生かした飾り気のない美味しさ。初めてなのにとても懐かしい味がします。

フレンチシェフのオーナーが調理するモーニングとランチ料理も大人気、特にモーニングは早く並ばないと売り切れてしまうのでご注意ください。そのような時は店内でバケットやスコーン（週末のみ）をコーヒーと一緒にいただいて、明日の早起きを誓うのです。（森下）



パン工房レストラン megane（めがね）

山梨県北杜市高根町清里 3545-5553 TEL. 0551-45-9565
モーニング 7:30-10:00 ランチ 12:00-14:00

■ 次号の発行予定

次号は7月末の発行を予定しています。7月17日のイベント報告、8月7日のイベント案内などを掲載します。会員からの投稿も歓迎します。7月20日（水）までに事務局または藤岡まで原稿や写真などをお送りください。メール添付でも郵送でもけっこうです（郵送の場合、写真などは原則として返却しませんのでご了承ください）。

■ 表紙の写真と文

ハケ岳演習林に咲くサクラソウ。（2016/5 井波撮影）

■ 編集後記

ハケ岳森の恵み会の設立総会では、多くの初対面の方とお会いすることができました。様々な職業や経歴を持った方々が「ハケ岳の森」をキーワードに集まり、とても心強い思いです。互いの力と知識を持ち寄って、これからの活動を大いに盛り上げていきましょう。「ハケ岳森の恵み通信」、いかがでしたでしょうか。創刊号ということで報告とお知らせが主な内容となりましたが、次号からは会員のみなさんからの様々な情報や知識などをお寄せいただいて、楽しく役にたつ会報となれば幸いです。

